

ひびきコンテナターミナルへの大型クルーズ船受入れについて

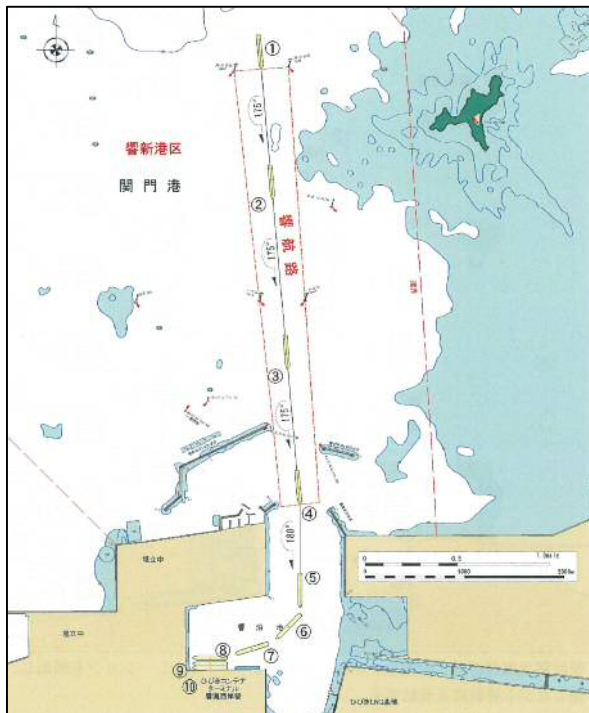
ひびきコンテナターミナル（響灘西6号岸壁）への大型クルーズ船受入れを可能とするための航行安全対策調査が7月末に終了し、当調査結果及び航行安全対策がまとまったので、その内容を報告するとともに、関係者へ速やかに周知するもの。

1 調査概要

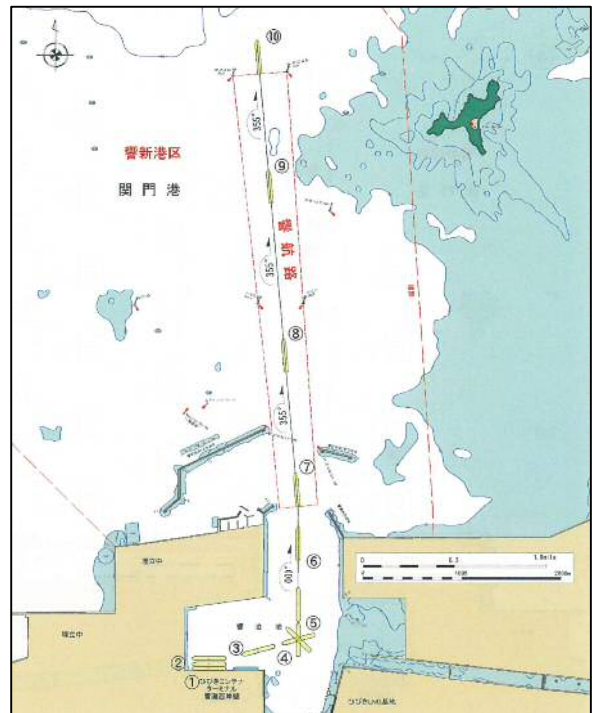
(1) 調査対象区域及び入出港形態

響新港区（ひびきコンテナターミナルを含む下図海域）において、入船左舷付けおよび出船右舷付けの両方の入出港形態について調査・検討を行った。

①入港時（入船左舷付けの例）



②出港時（入船左舷付けの例）



(2) 調査対象船型

- | | | |
|---|--------------------------|---------|
| ① | 16万総トン級客船（クァンタム・オブ・ザ・シーズ | 全長 348m |
| ② | 14万総トン級客船（ロイヤル・プリンセス | 全長 330m |
| ③ | 11万総トン級客船（コスタ・フォーチュナ | 全長 272m |

(3) 航行安全対策調査専門委員会等の開催状況

平成28年 4月25日 (月) :	第1回委員会
平成28年 5月27日 (金) :	第2回委員会
平成28年 5月30、31日 (月、火) :	ビジュアル操船シミュレーション実験
平成28年 7月 5日 (火) :	作業部会
平成28年 7月22日 (金) :	第3回委員会

2 調査結果

次の航行安全対策等のもと、調査対象船型のすべてが、受入れ可能となった。

(1) 入出港に関する航行安全対策

①入出港基準

- ・ 平均風速 : 最大 12 メートル/秒 以下
- ・ 波 高 : 1.5 メートル 以下
- ・ 視 程 : 2,000 メートル 以上
- ・ 喫 水 : 余裕水深 10%以上を確保
- ・ 曳 船 : 14 万及び 11 万総トン級客船については、平均風速 12 メートル/秒の場合、曳船 2 隻を配備

②接岸速度等

接岸速力を下記の基準以下とし、できるだけ平行に接岸させる

- ・ 16 万総トン級客船 : 12 センチメートル/秒
- ・ 14 万総トン級客船 : 14 センチメートル/秒
- ・ 11 万総トン級客船 : 16 センチメートル/秒

③入出港時間帯

日出から日没まで

(2) その他

- ・ 航路を横切る内航船等との調整を図るため、水先人の乗船など、状況に応じた安全対策を講じることが望ましい。
- ・ 前路警戒船 1 隻を配備 (曳船 (タグボート) でも可)。
- ・ 港湾管理者は、関係先との協力体制を確保して、航路・泊地の行き会い調整など、関係先への周知・協力依頼を行う。
- ・ 係留可能上限風速 (最大 17 メートル/秒【11 万トン級客船の場合】) に達するおそれがある場合は、入出港基準の範囲内で早期に離岸・出港。

3 大型クルーズ船受入れにかかる関係先への周知

今回の経済港湾委員会への報告終了後、速やかに船会社など関係者に周知を予定。

◆ 調査対象船

①



16万総トン級、全長348m、4,180人

②



14万総トン級、全長330m、3,560人

③



11万総トン級、全長272m、2,716人